

## 施策の方向性（ストラクチャー案）

### 【目次】

- |                       |     |
|-----------------------|-----|
| 1. 現行の「住まうビジョン・大阪」の概要 | P 2 |
| 2. 「施策の方向性」の検討にあたって   | P 3 |
| 3. 答申のストラクチャー案        | P 4 |

令和2年9月17日

大阪府住宅まちづくり審議会第5回政策検討部会 資料

# 1. 現行の「住まうビジョン・大阪」の概要

基本的な  
考え方

## 都市の活力の源は「人」

《大阪ならではの魅力を活かす》

基本目標

住まうなら大阪！  
～多様な人々が住まい、訪れる居住魅力あふれる都市の創造～

政策展開の  
方向性



施策の柱

1. 国内外から  
多様な人々を惹きつける  
住まいと都市

2. 生き活きと  
過ごすことができる  
住まいと都市

3. 環境にやさしく  
快適に過ごすことができる  
住まいと都市

4. 安全を支える  
住まいと都市

5. 安心して  
過ごすことができる  
住まいと都市

### 重点的に取り組む施策

1. 大阪らしいストック・ポテンシャルを活かした魅力ある都市空間の形成

5. 省エネ化の推進による大阪の住まいの魅力向上

2. 大阪に住まう魅力の情報発信による若年・子育て世代の移住・定住促進

6. 密集市街地における魅力あるまちづくりの推進

3. 空家の多様な活用による居住魅力の向上

7. 地域特性に応じた総合的な施策展開による耐震化の促進

4. 公的賃貸住宅ストックを活用した子育てしやすいまちづくりの推進

8. あんしん住まいの充実による居住魅力の向上

## 2. 「施策の方向性」の検討にあたって

「答申中間とりまとめ」の政策の方向性に基づき、現行ビジョンの進展、社会情勢の変化や新たな取組みを踏まえ「施策の方向性」を再構築

### 現行ビジョンの進展

- ・うめきた地区など都心部の拠点整備
- ・特徴ある景観資源の発掘・発信
- ・住宅・建築物の耐震化
- ・密集市街地の一部解消
- ・新たな居住支援の枠組みの進展

### 社会情勢の変化

- ・大阪・関西万博の開催に向けた機運
  - ・SDGs への関心の高まり
  - ・多様な生活ニーズ
- 【危機事象】
- ・新型コロナウイルスに起因する新しい生活様式や新たな日常
  - ・頻発する地震・台風などの自然災害

答申中間とりまとめより

### 新たな取組み

- ・スマートシティの実現
- ・マンション管理適正化
- ・公的、民間含めた居住支援構築 など

+

「新しい生活様式」「新たな日常」による変化を踏まえた取組み（重点議論）

### 3. 答申のストラクチャー（たたき台）

基本目標

多様な人々がいきいきと暮らし、誰もが住みたい、訪れたいと感じる、  
居住魅力あふれる都市の実現

政策展開の方向性

活力と魅力  
あふれる  
住まいと都市

好循環

安全・安心に  
くらすことが  
できる住まい  
と都市

施策の方向性

施策の柱

1. まちの魅力を育む

2. くらしの質を高める

3. 安全を支える

4. 安心してくらせる

基本目標の実現に向けた施策の方向性

※ 施策の柱ごとに、  
施策の方向性と具体的  
な取組みを記載

施策展開の視点

- ①多様性（ダイバーシティ） ～ 多様化するニーズへのきめ細やかな対応 ～
- ②関係者連携（ステークホルダー） ～ 様々な分野や、公民の連携による事業効果の最大化 ～
- ③政策の舞台（ステージ） ～ 大阪がもつ多様なストック・ポテンシャルの活用 ～